

5
月臨時会

6 議会だより

月定例会

newsletter

敦賀市議会 検索

花火大会開催&もうすぐ敦賀まつり

8月16日に「第66回とうろう流しと大花火大会」が開催されました。水上花火や打上花火など約1万発の花火が打ち上がり、今年も多くの人でにぎわいをみせました。

また、花火大会が終われば、もうすぐ「敦賀まつり」です。今年度は、9月2日から5日までの4日間の開催となります。

みこしや勇壮な山車が市内を練り歩き、カーニバル大行進、民謡踊りの夕べが行われる予定です。



議長に有馬氏、

副議長に別所氏を選出

議長
有馬 茂人



副議長
別所 治



4月26日に行われた統一地方選挙後、初めての議会となる臨時会が5月20日に開かれました。

正副議長選挙を行った結果、第53代議長に有馬茂人議員、第54代副議長に別所治議員が選出されました。

目次

- 委員会構成・・・・・・・・・・・・・ 2
- 常任委員会審査報告・・・・・・・・ 3～6
- 特別委員会中間報告・・・・・・・・ 7
- 代表・一般質問・・・・・・・・・・ 8～12
- 審議結果一覧・・・・・・・・・・・・・ 13
- 議会日誌、9月定例会の日程・・・・ 14

委員会構成

新しい委員会の

メンバーを紹介します

5月臨時会において、議会運営委員会をはじめ、各常任委員会や特別委員会の委員が議長から選任されました。

議会で取り扱う問題は数が多く、内容も多岐にわたることから、合理的、能率的に審議を行うために委員会を設けています。

議会運営委員会

条例に基づいて設置され、議会を円滑に運営するための協議を行います。

- 委員長 福谷正人
- 副委員長 米澤光治
- 委員 北川博規
- 山崎法子
- 田中和義
- 和泉和明
- 前川和治
- 北村伸治
- 馬淵清和
- 北條正

常任委員会

条例に基づいて設置され、全議員が必ずいずれかの委員会に所属します。定められた所管事務の調査を行い、市長から提出された議案や、市民からの請願などを審査します。

総務民生常任委員会

- 委員長 原 幸雄
 - 副委員長 中野史生
 - 委員 大塚佳弘
 - 堀居哲郎
 - 北村伸治
 - 北條正
 - 立石武志
- (※1名欠員)

産経建設常任委員会

- 委員長 和泉明
- 副委員長 浅野好一
- 委員 石川栄一
- 山崎法子
- 別所治子
- 福谷正人
- 前川和治
- 林正男

文教厚生常任委員会

- 委員長 馬淵清和
- 副委員長 北川博規
- 委員 今大地晴美
- 米澤光治
- 豊田耕一
- 山本貴美子
- 田中和義
- 常岡大三郎

予算決算常任委員会

- 委員長 北條正
- 第1副委員長 田中和義
- 第2副委員長 大塚佳弘
- 委員 議長を除く全議員

特別委員会

特定の事件について集中的な審査、調査が必要なとき、議会の議決によって設置されます。

原子力発電所特別委員会

- 委員長 田中和義
- 副委員長 大塚佳弘

(※) 新幹線対策特別委員会

6月定例会において、新幹線対策特別委員会を設置する議会提出議案が可決されたことにより、7月1日に新たに設置されました。

北陸新幹線整備に伴う敦賀駅及び駅周辺整備に関する事項を取り扱います。



新幹線対策特別委員会(※)

- 委員長 和泉明
- 副委員長 山崎法子
- 委員 浅野好一
- 中野史生
- 堀居哲郎
- 豊田耕一
- 福谷正人
- 前川和治
- 北條正
- 立石武志

常任委員会審査報告

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを予備的に審査する場です。

「予算決算」「総務民生」「産経建設」「文教厚生」の各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

● 予算決算 ● 常任委員会 ●

〔第56号議案〕
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第2号）

質疑

◎福井しあわせ元気国体競技施設整備事業費について

問 さらめきスタジアムの大幅な改修を行う目的は。

答 球場を見に来た視察団から指摘された不備のある箇所の改修を行う。

◎歳入の幼稚園使用料の減額補正について

問 減額した分は一般財源で補てんするののか。

答 この歳入は幼稚園職員の給与と費に充当しているため、一般財源からの持ち出しが増えることになる。

問 9月補正で計上してはだめだったのか。

答 なるべく早い対応を考えた。

自由討議

意見 幼稚園使用料の減額補正について、3月議会で決まったことを3カ月で変えてしまうのは他の市民から見ると不信感につながるのではないかと、対応には苦慮されたと思うが予算書に載るまでのプロセスに納得がいかない。これが前例になつていいのか。

自由討議の後、歳入の幼稚園使用料のうち今年4月から変更された利用者負担額を変更前の額に戻すための減額補正分に関しては、これを減額しないよう、予算の組み替えを求め、動議が提出されました。



予算の組み替え動議

予算の組み替え動議とは、議員が行政（市長）に対して、予算案を修正し、再提出することを求める動議です。この動議に法的拘束力はありませんが、動議が可決された場合、行政は議会の意思を重く受け止め、予算案の撤回または訂正の選択を迫られることになります。

討論

反対 組み替え反対
原案賛成

保育料改正の明確な説明が行われた3月19日の時点で、既に保護者は選択の余地がなかった。理事者も落ち度を認め、今回の減額予算を計上したと認識しているので、これを評価し、組み替えに反対する。

反対 組み替え反対
原案反対

市民の暮らしの負担が懸念される事業やマイナンバー制度関係費などが含まれており、原案に反対である。また、プロセスに問題があるとする組み替え動議の提案理由には同意できるが、そもそも幼稚園保育料の値上げには反対なので、プロセスを理由に組み替えに賛成できない。

賛成 組み替え賛成

予算措置そのものを問題にしているのではなく、プロセスに問題があると考えられる。また、議員説明会や質問を通して行った議論でも合理的な理由が認められなかったため、組み替えに賛成する。

採決

組み替えすべきものと決定
賛成多数

〔第57号議案〕
平成27年度敦賀市港湾施設事業特別会計補正予算（第1号）

◎敦賀港コンテナの上屋改修事業費について

質疑

問 敦賀港コンテナ上屋の機能維持のためとのことだが、改修は何回目か、耐用年数はどのくらいか。

答 壁面については初めてで、樋（とい）の部分については一度修理を行っている。塗装改修の耐用年数は8年から10年である。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第60号議案〕
平成27年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

◎公営企業会計移行業務費について

質疑

問 移行業務は委託料となっており、委託先とその選定方法についての考えは。

答 同会計への移行業務の実績があるコンサルタントを想定しており、契約方法は入札を考えている。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第63号議案〕
平成27年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号）

◎原子力防護対策施設資機材等整備事業費について

質疑

問 食料や防護服等の備蓄物資、また、寝袋等の整備資機材はどの程度を予定しているのか。

答 食料はおおむね3日分で、患者44名、スタッフ23名分であり、資機材はストレッチャ10台、担架20台、スタッフの折りたたみベッド23台である。また、防護服は10セット、寝袋は23個整備する。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

第74号議案は、7月6日開催の委員会において可決された組み替え議を受け撤回された第56号議案にかわり再提出された予算です。予算の組み替えを求めた部分以外は第56号議案と同一の内容となっています。

〔第74号議案〕
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第2号）

◎歳入の幼稚園使用料の減額補正について

質疑

問 49万8千円の減額補正となっている理由は。

答 県のすくすく保育支援事業による減額である。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



請願・陳情はどなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみなさんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

- *該当要件
- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
 - ・公益的性格を有するもの。
 - ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

〔書式例〕

年月日

請願（陳情）書
敦賀市議会議長 殿

紹介議員（請願のみ）
住所 ……………
氏名 ……………

……………について

請願（陳情）趣旨
……………

請願（陳情）事項
1 ……………
2 ……………

● 総務民生
● 常任委員会 ●

「第69号議案」
嶺南広域行政組合規約の変更の件

質疑

問 今回、敦賀市から小浜市に管理者が変わった理由は。

答 管理者の決定は、各市町の首長の互選により決定している。前敦賀市長の任期が4月29日までであり、それまでに臨時の管理者会を設け、その管理者会において、新たに小浜市長ということで決定した。経緯については、新しい敦賀市長の負担軽減を考え、また、小浜市長はキャリアもあるので、お願いしようと思ったと聞いている。

問 経過措置に、平成28年3月31日とあるが、その時点をもってどこかで、敦賀市長に変わるという含みを持っているのか。

答 組合管理者の任期は、市長の任期中間である。経過措置を過ぎても、小浜市長の任期は平

成28年8月4日までであり、8月4日までは、小浜市長である。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

「請願第3号」
「非核平和都市宣言」採択についての請願

意見 この請願は、何度も提出され否決されている。非核平和都市宣言とあるが、敦賀市は平和都市宣言をしており、その中に含んでいると受けとめている。また、日本非核宣言自治体協議会の宣言自治体一覧にも敦賀市は含まれていることから、平和都市宣言の中を含むと解釈できるので、改めて採択する理由はないと思う。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定

「請願第5号」
「安全保障関連法案」の徹底審議の意見書提出を求める請願

意見 安全保障関連法案の徹底審議を求めるということ

とでは意見書を出すべきと思つたが、国会は9月末まで延長され徹底審議をしようという状況下にある。また、内容に法案に反対であるという請願者の主観的判断があるので、意見書提出には反対の立場をとりたい。

討論

反対 国会も延長され、審議をしないわけではない。また、法案の内容は戦争をやるためのものとは違うと思つている。慎重にしてもらうというのは理解するが、この内容では、承服しかねる。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定

● 産経建設
● 常任委員会 ●

「第65号議案」
敦賀市公共下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の一部改正の件

質疑

問 これからは費用対効果の小さい区域が残っていくが、認

可区域の見直しということはあるか。

答 認可区域は、農地を含めず、家屋が密集している区域を対象としている。今後も状況を見ながら、家屋がある区域を認可していく予定である。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

「第66号議案」
指定管理者の指定の件
※敦賀駅前広場

質疑

問 駅前広場の指定管理者の業務範囲はどこまでか。

答 区域としては公共交通ゾーン、広場ゾーン、市民交通ゾーンで、駅前広場全域となる。業務内容は清掃、公園管理、施設管理、除雪、融雪、利用申請受付、料金徴収、自主事業等である。

問 駅前広場を商店街の方が使う場合の減免はないのか。また、使用料がかかることを知らない人への周知は。

この減免はないのか。また、使用料がかかることを知らない人への周知は。

答

減免については他の公共施設と同じ取り扱いとなる。周知については、今後指定管理者との協定の中で進めていくが、現場に人員を配置して無断使用者の監視や指導をすることも考えている。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

文教厚生 常任委員会

「請願第4号」

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願

意見

基本ポートフォリオの変更に関して、経済学者の中でも意見が分かれている。年金積立金を国内債券中心に運用するか、株式等に充てるか、どちらが正しいのか判断が難しい。運用方法を変更したことに對する、意見書の中の「早急に見直すこと」という文言は適切でないのでは。

意見

リスクがでた場合、だれも責任がとれず国民はあきらめないといけない。そうならないように政府に見直してもらっための意見書ではないか。

討論

賛成

やれることは何でもやるといった視点は危険であり、市民のプラスにはならない。被保険者の老後の生活の資金として年金は運用されていくということを考えれば、そこまでのリスクを冒す必要はない。多くの犠牲者を出す前に請願を提出すべき。

反対

専門家の意見が分かれる中、「早急に見直すこと」という文言が入った意見書を認めるということは、我々もそれが正しいという判断をしたことになるので、採択することには反対である。

採決

可否同数（委員長裁決）
不採択とすべきものと決定

基本ポートフォリオ
「長期的な観点から安全かつ効率的な運用」を行うため、各資産を組み合わせた資産構成割合のこと。



おしらせ

議会報告会を開催します！



今年は
11月24日（火）
午後7時から
フラザ萬象小ホールで
報告会を開催します。

今回で6年目になる議会報告会。

市民の皆様の日頃の議会の活動を知っていただく良い機会となるよう、少しでもわかりやすい報告会を目指して、議員一同で計画を立てています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「新幹線対策特別委員会」の調査の概要について紹介します。

原子力発電所 特別委員会

日本原子力発電株式会社関係

質疑

問

敦賀発電所2号機における管理区域での火花の発生事象について人身事故や大規模災害ではなかったとのことだが、それにつながる事象だと思ふ。市としてどういう指導を行ったのか。

答

発生日の3月17日に連絡を受け、19日に発生現場の確認を行った。市としては、ヒアリングを進める中で、作業手順書の不備を指摘し、手順書の作成段階において、事前の確認を十分に行うよう注意した。

その他

質疑

問

敦賀発電所2号機の破砕帯問題について、今後、事業者は、夏から秋頃にかけて再稼働に向けた安全審査を申請するとしているが、審査にかかるまでに、市として、

改めて破砕帯の内容について科学的議論を尽くすよう、規制委員会に対し要望するなどの対応は考えているのか。

答

今後、市長と検討していく。また、当市に限ったことではないが、全原協としても規制委員会に対して公正な議論をして欲しい旨、審査を申請している所については遅滞なく迅速に行って欲しい旨、要望している。

新幹線対策 特別委員会

鉄道・運輸機構の鉄道建設所建設
予定地変更について

質疑

問

建設予定地を気比神宮裏の税務署跡地から駅西地区へ変更することだが、駅周辺整備構想策定委員会を開催せず、議会への説明も遅れたのはなぜか。

答

策定委員会については日程の調整が難しかった。議会と時期が重なり難しく、現体制になって

からの対応となった。

問

建設予定地変更は、市長の指示が大きなウエイトを占めると思ふが、市長の指示の内容は。

答

税務署跡地について、おくのはそ道の風景地の選定や、気比神宮を中心としたまちづくりへの思いがあるので、他で良い場所を見つけてほしいとの指示である。

問

当該地は交差点の角地であるが、事務所の配置等については、地元説明会の中で住民の理解を得ているのか。

答

地元住民の理解は得ている。道路側の設置が予定されている車庫については、見通しが悪くなるため、できれば位置を変えてほしいとの意見が出た。

今後については、本特別委員会も設置されたため、策定委員会も含めて議会と一緒に相談しながら両輪のごとく進めていきたいと市からの回答がありました。



代表・一般質問

6月29日に、市政会、政志会、市民クラブ、公明党が代表質問を行い、6月30日・7月1日の2日間、15人の議員が一般質問を行いました。

それぞれ会派・議員ごとに、1項目について要約し、8～12ページに掲載しています。

代表質問

市政会

人口減少対策について

福谷 正人

問

敦賀市で昨年10月に策定した人口減少対策基本計画に市長の市政運営方針と具体的な施策を反映させ、地方創生プロジェクトチームを設置し、敦賀版総合戦略を策定されることですが、具体的にどのように進めるのか。

答

基本計画は国が求める地方版総合戦略と趣旨を同じくするものであり、原則これをベースとして、庁内で検討された具体的な施策20本を3つの市政方針ビジョンのもと再度選定し、新たな施策を加えた上で基本計画につなげ、地方版総合戦略として完成させたい。

政志会

財政運営について

馬淵 清和

問

6月補正予算は、市長の施策を含め、どのような方針で編成したのか。また工夫した点、配慮した点は。そして「行政の棚卸し」とはどのような内容を考えているのか。

答

新しい「元気」「地域・人」「安全・安心」づくりをテーマに事業の継続性に重点を置いて予算編成を行った。棚卸しとは効率的な組織運営や、より有効な予算執行を進めること、また市が所有する資産、負債を把握し今後の政策に反映していく資産管理を考えている。

市民クラブ

市民クラブ

市立敦賀病院の地域包括ケア病棟について

北條 正

問

地域包括ケア病棟は、名前の通り「地域包括ケアシステ

ム」の中で、在宅医療や介護とうまく連携していくこともキーとなっている。今後の運用をどのようにお考えか、市長に伺う。

答

地域包括ケア病棟は地域包括ケアシステムの一翼を担うことから、今後ともほかの医療・福祉・介護関係機関との連携強化を図り、この地域に合った良質な医療を継続的に提供し、患者さん中心の医療を行ってまいりたい。



公明党

福祉政策について

山崎 法子

問

高齢者福祉の認知症対策について、認知症の方の不安や家族の介護負担の軽減を図るために認知症カフェを開設していくと、高齢者福祉計画に書かれてあるが、今後の具体的な開設の予定は。



答 現在認知症高齢者の方は年々増える状況にある。

そこで、本年度、地域包括支援センター「長寿」において、認知症カフェを開設し、市民・医療・介護の関係機関からの相談等にも対応するために、地域支援推進員を配置したい。

一般質問

農業

担い手育成、大規模圃場整備事業について

浅野 好一

問 TPPの交渉進展による輸入農産物の増加、農産物価格の低迷、後継者不足、耕作放棄地の増加等の問題に対応するための、低コストで農業を行うための大規模圃場整備、担い手組織の育成について市長の所見を伺う。

答 担い手等の人員を確保するために、営農組織を立ち上げ、効率的な生産ができる大規模農法、

メガファームを推進したい。そのため低コストで少ない後継者でも農地の維持管理ができる大規模圃場を整備したい。

観光振興

敦賀市の観光とイベントについて

石川 栄一

問 夏フェス（夏に行われる音楽フェスティバル）がとうろう流しと大花火大会の前日に行われ、さらに、そのイベントが気比の松原の対岸、金ヶ崎緑地で行われるとなれば、大きな話題となり、敦賀市の知名度が上がることは確実にだと考えるが、いかがか。

答 新しい視点であり、魅力的な話題性をつくる一つの方法になると考えられる。

しかし、本市は四季折々のイベントが開催されており、また、イベント等の開催には、さまざまな費用が発生するので、規模や内容、財政状況を見きわめて判断していかなければならない。

世界記憶遺産登録について

立石 武志

問 平成26年第1回定例会において、杉原千畝氏題材の「人道の港敦賀港」を世界記憶遺産登録にとの質問をしたが、先般杉原氏の出身地岐阜県八百津町が登録申請したとの報道があった。敦賀市の取り組みはどうなっているのか。

答 市が共同申請等の形で関与することができなかったことは、まことに申しわけなく思っている。サバイバー（生存者）の方の記憶をメッセージにもらう、というような資料の収集等にも取り組んでいきたいと考えている。また、八百津町とも十分に連携して取り組んでいきたい。

道路・交通

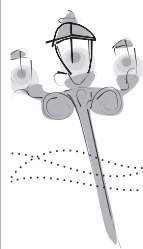
道路照明LED化に伴う地元負担について

田中和義

問 LED化に伴う電気代の地元負担は順番待ちで、これか

ら照明をつける地域と、長年にわたり無料であった地域との公平性をどのように図るのか。また、過疎化の加速、格差増大にもなるため、検討委員会に簡単に委ねるのではなく、責任ある対応を求めます。

答 検討委員会には区長連合会の代表にも入っていたかどうかとを予定しており、不公平感や負担率については十分に検討委員会に盛り込むようお願いしていく。市としても各区の格差が広がらないような負担方法は必要だと考えている。



敦賀市山区雨谷地区〜高島市マキノ町間トンネル道路の新設について

中野 史生

問 山区から滋賀マキノ町のトンネル新設は京阪神との壁をなくし、交通・経済・人の流れを活性化させる。風通しを良くし、経済的発展を遂げるため、また、原発有事の際の避難路としてもとても重要だと思うが、所見を伺う。

答

さまざまな面で利用価値の高い道路であると認識しているが、整備には多額の費用が必要となり、国からの補助金なしでは困難である。また滋賀県との協議も必要であり、市としても、県に対し強く要望していききたい。

敦賀っ子の通学の現状と課題について

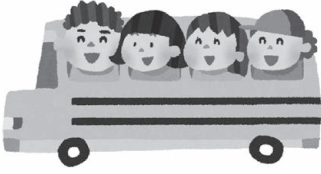
豊田耕一

問

危険な通学路を自転車や中・学校まで通う子供たちや、コミュニティバスによる通学の限界、通学の送迎を行う保護者の大きな負担という現状を踏まえて、行政としてスクールバスによる対応は可能かどうか。

答

スクールバス全体の効率的な運用について検討していきたい。コミュニティバスについても、学校の開始時間や下校時間に合わせるなどできないか、バスの時刻については関係機関と協議したいと考えている。



行政

政府機関の地方移転について

前川和治

問

政府が地方創生、東京一極集中を是正する一つとして、政府機関の地方移転を行うことを公表した。圧倒的な雇用創出や若者の働く場をつくるという観点からも、敦賀市として政府機関の誘致を積極的に進めたいが市の見解を問う。

答

行政としても、東京一極集中を是正し、地方の人口減少克服を目指す地方創生において取り組んでいく必要があるものと認識しているため、本市の特徴を活かし、原子力を初めとしたエネルギー供給都市であるという実績と背景を踏まえた上で、エネルギー関係の政府関係機関の移転を要望した。

生活基盤の状況把握について

北川博規

問

明確な目標を持った計画と将来を見通した施策を進めていくためには、生活基盤の現状把握

と分析が求められる。今後、それらの指標をどのように把握し、いかに活用していくのか。

答

標準スケール等を用いて直接そういった具体的な施策を打ち出すということも、また一つの考え方ではないかと思う。必要な指標というのは変わってくるかとは思いますが、この政策によってどれだけの効果があったのかというのは数字として知りたいところなので、庁内で検討してみたい。

敦賀の野球史と市営球場について

林正男

問

今の市営球場は大正13年に敦中、敦商野球部員、その関係者等々の人達によって造られた球場である。また、昭和43年福井国体には天皇后両陛下が来敦され、軟式野球をご覧になられた球場でもある。しかし、昨年夏より、球音が消えた球場となった。その経緯と球場の今後について尋ねる。

答

施設の老朽化や場外飛球への対応等、球場としての課題

が多く、既存施設へこれ以上の修繕や増設を行うのは得策ではないと考えている。既存施設を解体し、場外飛球等の危険因子を取り除くことができるレベルの新たな野球場を建設するか、多目的に使えるスポーツ施設とするか、別の適地に野球場を新設するかなどを含め現在調査を行っており、早い段階で答えを導き出したい。



公共施設、インフラの維持管理について

米澤光治

問

厳しい財政状況の中、持続可能な財政確立のために、公共施設やインフラの維持管理、更新費用のマネジメントが重要である。市長の現状認識と対応方針、また、「公共施設等総合管理計画」策定の進捗について伺う。

答 税収増が見込めない中で、現状の公共施設を全て維持、更新するのは難しく、施設の統廃合や複合施設の設置を検討していく。管理計画は策定の可否を含めて政策的な判断が必要であり、まずは現状の分析を最優先に行う。

市民生活

市民が主役のまちづくりについて

今大地 晴美

問 鉄道・運輸機構の新事務所設置のために、公園を移転し、駅西地区の一等地をなぜ市が用意しなければならぬのか理解できない。機構と土地賃借の契約を交わしていないなら、市長が謝罪してでも機構には、撤退してもらわなければならないのか。

答 副市長が機構にお願いしに行き、了解していただいたという経緯がある。もう一つは、気比神宮の裏の税務署跡地よりも現在の場所のほうがいいということ判断した次第である。そこを御理解いただきたい。それは市長の判断であり、

最終的な判断である。

低所得者の住宅問題について

山本 貴美子

問 敦賀市は、民間の賃貸住宅の家賃が高いため、低所得者の住宅問題は深刻である。市営住宅の増設や福祉住宅の新設、民間賃貸住宅の家賃補助制度など、早急に対策を取るべきと考えるが、今後の計画についてお聞きする。

答 市の公営住宅等長寿命化計画において、将来の対象世帯数等を推計し目標管理戸数なども設定をしているので、計画的に市営住宅の管理を今後とも進めていきたいと考えている。目標管理戸数の達成に向けて市営住宅の戸数を減らしていく計画になっているので、現在のところ増設の予定はない。

新幹線開通を見据えた中心市街地活性化について

堀居 哲郎

問 新幹線開通の約8年後までにあふれる駅周辺と中心市街地を創

ることがさらなる敦賀の発展につながるかと考える。そのために国道8号本町区間2車線化の取り組みを前に進める必要があると考えるがどうか。

答 国道8号本町区間2車線化については沿線住民等との合意形成が必要であり、そのためには定期的な話し合いが重要だと考えている。

今後は関係者との協議を進めてまいります。



環境・福祉

笹の川河川整備計画について

和泉 明

問 笹の川河川整備計画は井の口川整備完了後の着手と聞いていたが、今回県の6月補正予算で同河川整備関連予算が盛り込まれたと聞く。早期着工を熱望する西地区として評価するものだが、予算の内容と今後の着工の見込みは。

答 県の6月補正予算案では、笹の川河口から木の芽川合流点までの区間の測量調査費が計上されており、予算承認後、調査に着手すると聞いている。測量調査後に詳細設計が行われ、それから事業に着手されると考えている。

障がい児支援の取り組み全般について

大塚 佳弘

問 平成24年開設の敦賀市立子ども発達支援センター『パラル』の各サービス利用状況が増大しており、その中でも放課後等デイサービスは利用者が十分に利用できていない状況にあるが今後の対応策は。

答 定員20名に対し登録者数が3倍以上であり、利用者のニーズを満たし切れていない状況。定員の引き上げには担当職員の増員と、施設の拡充等が必要であるが、直ちに対応することは難しい。今後、指定管理者と協議を行いながら可能な限り早急に対応したい。



代表質問 項目一覧

◎市議会

- 1 市長の基本方針について
- 2 財政運営について
- 3 原子力政策について
- 4 産業振興およびまちづくりについて
- 5 教育政策について
- 6 敦賀市立看護大学について

◎政委会

- 1 市長マニフェストについて
- 2 財政運営について
- 3 市立敦賀病院と市立看護大学について

◎市民クラブ

- 1 北陸新幹線敦賀延伸に向けて
 - (1) 敦賀延伸までの受皿づくり
 - (2) 敦賀駅周辺整備の進め方
 - (3) 北陸新幹線敦賀延伸を見据えた観光戦略

- 2 教育行政と保育行政について
 - (1) 保育行政
 - (2) 教育行政
- 3 エネルギー拠点化と原子力政策について
 - (1) エネルギー拠点化
 - (2) 原子力政策
- 4 市立敦賀病院について
 - (1) 地域包括ケア病棟
 - (2) 医師、看護師確保と病院経営の安定

◎公明党

- 1 市長マニフェストについて
- 2 行政改革について
- 3 福祉政策について
- 4 子ども・子育て支援について

一般質問 項目一覧

◎林 正 男 議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 敦賀の野球史と市営球場について
- 3 アクアトムについて

◎浅 野 好 一 議員

- 1 担い手育成、大規模園場整備事業について
- 2 地産地消による学校給食と食育について

◎堀 居 哲 郎 議員

- 1 新幹線開通を見据えた中心市街地活性化について
- 2 平成30年福井国体に向けての敦賀市の取り組みについて

◎田 中 和 義 議員

- 1 環境整備と観光について
- 2 一次産業の振興について
- 3 地域防災について
- 4 道路照明LED化に伴う地元負担について

◎立 石 武 志 議員

- 1 新市長としての今後の市政方針・取り組み運営について
- 2 世界記憶遺産登録について

◎今大地 晴 美 議員

- 1 市民が主役のまちづくりについて

◎豊 田 耕 一 議員

- 1 敦賀っ子の通学の現状と課題について

◎和 泉 明 議員

- 1 笙の川河川整備計画について
- 2 北陸新幹線と駅周辺整備について
- 3 原子力政策について

◎中 野 史 生 議員

- 1 敦賀市山区雨谷地区～高島市マキノ町間トンネル道路の新設について
- 2 河川改修について
- 3 獣害対策について
 - (1) 害獣による被害
 - (2) 害獣捕獲の状況
 - (3) 狩猟免許取得後の支援
 - (4) 恒久柵の実績
 - (5) 恒久柵の現況
 - (6) 本年度の対策

◎大 塚 佳 弘 議員

- 1 食育の推進について
 - (1) 食育推進計画の中間報告
 - (2) 保育園の給食民営化
 - (3) 地域社会の取り組み
- 2 障がい者(児)福祉について
 - (1) 障がい児支援の取り組み全般
 - (2) 地域生活支援拠点の現状と整備計画

◎石 川 栄 一 議員

- 1 敦賀市の観光とイベントについて

◎北 川 博 規 議員

- 1 市長の市政運営の方針について
 - (1) 再生
 - (2) 宝
 - (3) 行政改革
- 2 生活基盤の状況把握について
- 3 防災、特に自然災害への対応について
 - (1) 笙の川
 - (2) 積雪への対応
- 4 スポーツ振興、音楽文化活動について
- 5 角鹿中学校について

◎米 澤 光 治 議員

- 1 公共施設、インフラの維持管理について
- 2 福井しあわせ元気国体、しあわせ元気大会への準備対応について

◎前 川 和 治 議員

- 1 政府機関の地方移転について
- 2 雇用の創出について

◎山 本 貴 美 子 議員

- 1 地方版総合戦略と行政改革と市民の福祉、暮らしについて
- 2 低所得者の住宅問題について
- 3 敦賀の原発と廃炉について

審議結果一覧

平成27年第3回定例会では、平成27年度各会計補正予算案10件、条例案1件、一般・人事議案8件、報告6件、議会提出議案2件、請願3件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第2号） ※56号議案	予算決算	撤回
平成27年度敦賀市港湾施設事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第2号） ※74号議案	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市公共下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決

3 一般・人事案件

件名	付託委員会	結果
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
新たに生じた土地の確認の件	産経建設	可決
字の区域の変更の件	産経建設	可決
嶺南広域行政組合格約の変更の件	総務民生	可決
敦賀市教育長の任命につき同意を求める件	—	同意
敦賀市職員懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求める件	—	同意
敦賀市職員懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求める件	—	同意
敦賀市固定資産評価員の選任につき同意を求める件	—	同意

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
新幹線対策特別委員会の設置の件	—	可決
敦賀市議会会議規則の一部改正の件	—	可決

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第1号））	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例）	承認
繰越明許費繰越計算書の報告の件（平成26年度敦賀市一般会計）	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件（平成26年度敦賀市簡易水道特別会計）	報告のみ
繰越計算書の報告の件（平成26年度市立敦賀病院事業会計）	報告のみ
繰越計算書の報告の件（平成26年度敦賀市水道事業会計）	報告のみ

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
「非核平和都市宣言」採択についての請願	総務民生	不採択
年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願	文教厚生	不採択
「安全保障関連法案」の徹底審議の意見書提出を求める請願	総務民生	不採択

議会日誌

平成27年3月20日以降の主な議会活動の紹介です。

4月 26日 (日) 敦賀市議会議員選挙投票日

5月 1日 (金) 議員連絡会、新議員対象説明会

5月 8日 (金) 各派代表者会議

5月 13日 (水) 各派代表者会議

5月 26日 (火) 本会議(5月臨時会) 敦賀・長浜・高島三市議会協議会総会

6月 15日 (月) 議会運営委員会

6月 17日 (水) 議員説明会

6月 22日 (月) 議会運営委員会、全員協議会

6月 23日 (火) 本会議(定例会開会)

6月 29日 (月) 議会運営委員会

6月 29日 (月) 予算決算常任委員会全体会・分科会

6月 30日 (火) 本会議(一般質問)

7月 1日 (水) 各派代表者会議、議会運営委員会

7月 2日 (木) 本会議(一般質問)

7月 3日 (金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会

7月 6日 (月) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会

7月 9日 (木) 予算決算常任委員会全体会、広報広聴委員会

7月 24日 (金) 議会運営委員会

7月 27日 (月) 本会議(定例会開会)

7月 29日 (水) 本会議(定例会開会)

8月 3日 (月) 広報広聴委員会

8月 24日 (月) 議会運営委員会行政視察(26日)

8月 27日 (木) 広報広聴委員会

8月 31日 (月) 議会運営委員会

敦賀市議会ホームページに

アクセス!

敦賀市議会 検索

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成22年から)の本会議の映像
定例会ごと、議員ごとに見られます
会期中は本会議の中継も行います
- ・議員について
顔写真、連絡先、所属党派や委員会
- ・議会について
会期日程、審議結果、意見書
- ・議会報告会について
アンケート結果、会場ごとの報告書
- ・議会だより
バックナンバーはホームページで公開

議会報告会の報告書なども公開中!

9月定例会の日程(予定)

議会を傍聴される方は、当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

9月7日(月)本会議 議案の説明・質疑

9月8日(火)委員会 予算決算常任委員会

9月14日(月)本会議 一般質問

9月15日(火)本会議 一般質問

9月16日(水)本会議 一般質問

9月17日(木)委員会 常任委員会

(総務民生・産経建設・文教厚生)

9月18日(金)委員会 特別委員会

9月24日(木)委員会 予算決算常任委員会

9月29日(火)本会議 委員長報告・討議及び採決

! 本会議は、午前10時から

テレビ中継とインターネット中継を予定しています。

編集後記

6月定例会は市長、市議会議員が新しい顔ぶれで開催され、市民の皆様からも注目されたスタートになったのではないかと思います。『テレビやインターネット中継を見たよ』というお声も多く聞きましたし、議場に傍聴に来られた方も多かったですと聞いております。

この「議会だより」では、議会での質疑や議会活動をコンパクトに、かつ網羅的に紹介しております。少し硬めの印象を持たれるかもしれませんが、この紙面をきっかけに関心のあることや疑問に感じたことを市議会や市議会議員にぜひお話しください。

では、これからも敦賀市議会を宜しく願っています。

広報広聴委員会
 委員長 米澤光治
 副委員長 福谷正人
 委員 今大地晴美
 委員 大塚佳弘
 委員 北川博規
 委員 浅野好一
 委員 堀野哲郎
 委員 前川和治
 発行所 敦賀市議会
 住所 敦賀市中央町2丁目1番1号

電話 22-8157
 Eメール gikai@ton21.ne.jp